

地区名 由利本荘市・にかほ市

所在地 由利本荘市土谷

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

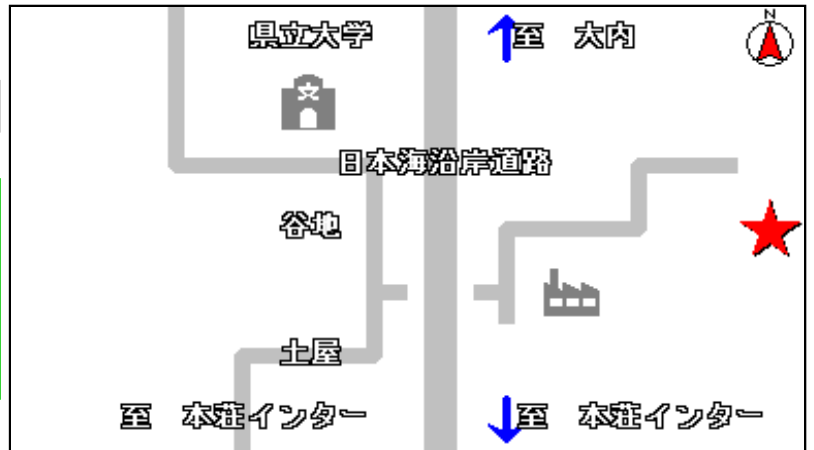
日本海沿岸道路本荘インターから秋田県立大方面に向かうと大学の手前に、弱電メーカーの工場が見えるので、そちらへ右折し工場の左側の道を進むと奥に見えてくる。

安全上の留意点

近くに会社があり、重機の出入りもあるので交通安全には十分注意する。また、露頭は田んぼの脇なので農家の方への配慮が必須。見える層は上から下まで均一なので、無理に登る必要はなく、手に取れる高さで観察はできる。地層は柔らかいので移植ベラで掘れるが、必要以上に露頭を傷つけないこと、観察後は復元することが大切である。

観察のポイント

- ①大きな地層の広がりを感じる。
- ②地層が奥まで続いていること。
- ③砂岩しかないこと。
- ④角ばった火山岩が見あたらないこと。



地質年代

新第三紀鮮新世後期(約200万年前頃)

解説

笹岡層と見られ、砂岩やシルト岩の層が広がっている。露頭のどこを見ても砂の層しかないため「水のはたらき」でできた大地であることを判断できる。また、この露頭の近くには同一の層が見えるところが複数あり、地層がこの地域一帯に広がっていることを考えさせる活動を組むことができる。化石はほとんど見つけることができなかつた。秋田県がまだ海底だった頃に静かに堆積していった様子を想像させることで、地球の長い歴史を感じることができるだろう。

(筆者独自調査)

露頭概観

指導形式

B



田んぼの脇で小さな用水路をまたぐことになるので、汚れてもよい服装が適している。



露頭に近づいてみると、どこも砂ばかりで石に見えるところも、手で触ってみると砂が固まっただけのものだと分かる。



手触りを確かめると、何とか粒を感じられる程度のざらざら感があり、砂の中でも細かいものだと分かる。